



C型慢性肝炎患者に対する IFN(リバビリン併用)療法の 病診連携パス

(かかりつけ医③)(21~32週)



かかりつけ医:

大垣市民病院主治医名:

病院・医院
クリニック

先生

看護師名:

患者氏名:

様

患者 ID

かかりつけ医:

大垣市民病院:

時間 項目	21~23週目  月 日() 月 日() 月 日()	24週目  月 日()	25~27週目  月 日() 月 日() 月 日()	28週目  月 日()	29~31週目  月 日() 月 日() 月 日()	32週目  月 日()
説明・指導 (栄養・服薬)	□大垣市民病院の指示に従いかかりつけ医にてIFN(およびリバビリン)投与を行う。 □有害事象等が認められた場合は大垣市民病院の主治医に連絡し、その後の治療について相談する。 □リバビリン投与中ならびに終了後6ヶ月の避妊を徹底する。	□大垣市民病院の外来にて検査およびIFNの投与を行う。	□大垣市民病院の指示に従いかかりつけ医にてIFN(およびリバビリン)投与を行う。 □有害事象等が認められた場合は大垣市民病院の主治医に連絡し、その後の治療について相談する。 □リバビリン投与中ならびに終了後6ヶ月の避妊を徹底する。	□大垣市民病院の外来にて検査およびIFNの投与を行う。	□大垣市民病院の指示に従いかかりつけ医にてIFN(およびリバビリン)投与を行う。 □有害事象等が認められた場合は大垣市民病院の主治医に連絡し、その後の治療について相談する。 □リバビリン投与中ならびに終了後6ヶ月の避妊を徹底する。	□大垣市民病院の外来にて検査およびIFNの投与を行う。
検査	インターフェロン種類によっては投与前に、以下の検査を行う。 □血液検査 (白血球、好中球、血小板、Hb)		インターフェロン種類によっては投与前に、以下の検査を行う。 □血液検査 (白血球、好中球、血小板、Hb)		インターフェロン種類によっては投与前に、以下の検査を行う。 □血液検査 (白血球、好中球、血小板、Hb)	
治療・処置	□検査結果を確認後、インターフェロン()を(皮下・筋肉)注射する。 ・21週目: μ g/body、注射部位: ・22週目: μ g/body、注射部位: ・23週目: μ g/body、注射部位:	・24週目 : μ g/body、注射部位:	□検査結果を確認後、インターフェロン()を(皮下・筋肉)注射する。 ・25週目: μ g/body、注射部位: ・26週目: μ g/body、注射部位: ・27週目: μ g/body、注射部位:	・28週目 : μ g/body、注射部位:	□検査結果を確認後、インターフェロン()を(皮下・筋肉)注射する。 ・29週目: μ g/body、注射部位: ・30週目: μ g/body、注射部位: ・31週目: μ g/body、注射部位:	・32週目 : μ g/body、注射部位:
薬剤	□リバビリンの服薬状況を確認する。 ・21週目:朝食後()夕食後() ・22週目:朝食後()夕食後() ・23週目:朝食後()夕食後()	・24週目 朝食後()夕食後()	□リバビリンの服薬状況を確認する。 ・25週目:朝食後()夕食後() ・26週目:朝食後()夕食後() ・27週目:朝食後()夕食後()	・28週目 朝食後()夕食後()	□リバビリンの服薬状況を確認する。 ・29週目:朝食後()夕食後() ・30週目:朝食後()夕食後() ・31週目:朝食後()夕食後()	・32週目 朝食後()夕食後()
症状観察・記録 (副作用)	□全身障害(発熱、倦怠感、筋肉痛) □消化器症状 (腹痛、食欲減退、下痢、嘔気) □皮膚症状(発疹、掻痒症、脱毛) □精神症状(不眠、うつ状態、めまい) □呼吸器(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難) □その他()		□全身障害(発熱、倦怠感、筋肉痛) □消化器症状 (腹痛、食欲減退、下痢、嘔気) □皮膚症状(発疹、掻痒症、脱毛) □精神症状(不眠、うつ状態、めまい) □呼吸器(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難) □その他()		□全身障害(発熱、倦怠感、筋肉痛) □消化器症状 (腹痛、食欲減退、下痢、嘔気) □皮膚症状(発疹、掻痒症、脱毛) □精神症状(不眠、うつ状態、めまい) □呼吸器(咳嗽、咽頭痛、呼吸困難) □その他()	
栄養 (食事)	□食事摂取量 ・21週目:朝()昼()夕() ・22週目:朝()昼()夕() ・23週目:朝()昼()夕()		□食事摂取量 ・25週目:朝()昼()夕() ・26週目:朝()昼()夕() ・27週目:朝()昼()夕()		□食事摂取量 ・29週目:朝()昼()夕() ・30週目:朝()昼()夕() ・31週目:朝()昼()夕()	
バリエーション	□あり() □なし	□あり() □なし	□あり() □なし	□あり() □なし	□あり() □なし	□あり() □なし

(バリエーション) A: 患者・家族の要因(1.身体的状況、2.意思、3.時間、4.学習能力不足)

B: 医療スタッフ要因(1.医師、2.看護師、3.その他)

C: 病院システム要因(1.情報やデータ、2.設備・機材器具、3.検査・手術、4.ベッド状況)

D: 社会要因(1.退院後の設備、2.ケア提供者、3.移送介助、4.設備や器具)

大垣市民病院 消化器内科 平成19年9月作成